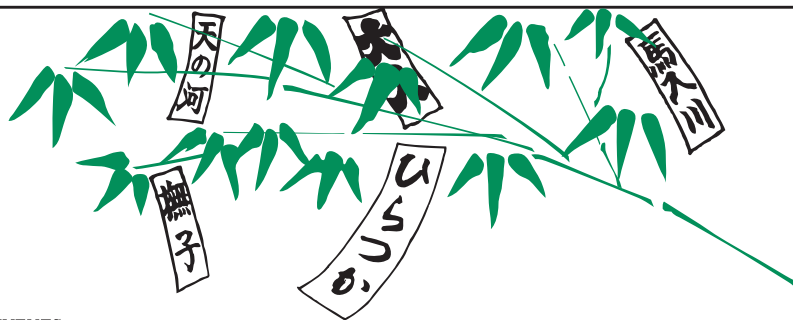




2010～2011年度 国際ロータリーテーマ
BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS
地域を育み、大陸をつなぐ



HIRATSUKA R.C. WEEKLY

- 会長 桐本美智子 ●副会長 小飯塚立雄 ●幹事 柏手 茂 ●会報委員長 工藤光和 (2010～2011年度) E-mail: hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- 例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 ●会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ●事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第2746回例会

2010年7月22日

グランドホテル神奈中

週報第2746号

本日の卓話者ご紹介

日本テレビアナウンスカレッジ 初代学長
日テレ学院講師
久保晴生様



卓話

テレビ界の現状と将来

日テレ学院講師 久保晴生

- ◆テレビ界の課題は ①地上波のデジタル化(地デジ)、②通信との融合(インターネットの普及)、③世界的経済不況による影響がある。

◆デジタル化の歩み

デジタル化は情報を圧縮する技術で情報の劣化もなく通信界では大分以前からデジタル化が進み、放送界も1996年からCS放送がデジタル化、BS放送も2000年にデジタル化している。放送界に残る地上波も2003年から東京・大阪・名古屋でデジタル放送が始まり2006年には全国の放送局でデジタル放送が始まった。そして来年2011年7月24日には1953年以来続いていたアナログ放送が終ってデジタル放送になる予定。また地デジの陰に隠れているがアナログ放送のBS(NHKとWOWOW)も終了し、NHKのBSは第1が報道、第2が娯楽になり、NHKとWOWOWのアナログで利用している跡に新規放送事業者が参入する。

◆デジタル化のメリット

情報を圧縮して伝えられることで、同じ量の情報を送るには電波(周波数の幅)が少なくすむ。つまり、デジタル化すれば時間が必要になり例えば時報が正確に出せなくなるといった欠点もあるが、それよりも電波を効率的に利用できると云うことを重く見たのがデ

ジタル化ということ。従って、同じ周波数帯域を使ってより多くの情報(番組)を送ることができると云うのがデジタル化のメリットといえる。

これに加えデジタル化で情報が劣化しないこと、高画質・高音質、双方向、データ放送、ワンセグ放送(移動体放送)が可能なこと、さらに既にデジタル化されている通信との融合が容易ということも注目される。

電波の有効利用

地デジ化により今テレビ局がアナログ放送で使っている周波数(VHF)はUHFに切り替えられVHF(1CH～12CH)は国に返還され、携帯とか防災無線とかに利用される。BSもチャンネルが多くなる。

通信との融合

通信の世界は既にデジタル化が進み放送特に地上波放送がデジタル化されれば通信と放送の融合が容易になる。技術的にはすでに垣根はなく、これからサービスやビジネス面での融合がはかれると考えられる。

◆デジタル化の進み具合

カバー率

つまり地デジがみられるところは全国の98.5%(2009年末)つまりほとんどのところで地デジは見るができるようになった。この98.5%を何とか2011年3月には99.5%というのが放送局の目標だが、ちなみにアナログ放送でもカバー率は99.8%で100%ではない。あと少しのところは、例えば山の中の1軒とか離島の数世帯とか都会のビル陰の地域などでこれを切り捨てることも出来ず放送局は苦勞している。

因みに民放連の試算だと地デジの総費用は1兆400億円で、この中にはスタジオの設備、カメラ、編集機のデジタル対応の費用も入っているが、なかでも送信施設のデジタル化は各局で何10か所も持っている中継局のデジタル化の費用が膨大になっている。このため不況が訪れる前から地方局は半分以上が赤字になると言われ、現に在京キー局でも2009年度決算ではTBSが赤字だった。

また、デジタル化は海外でも進みオランダやベルギーではアナログ放送が終了、アメリカも去年6月にアナログを終了している。

日本がアナログ放送の終了が遅れているのは技術上の問題ではなく、地上波のシェアが日本は74%あるのに比較的シェアの多いフランスでも地上波のシェアは65% イギリスが49% アメリカは19% ドイツ

<出席報告>

本 日 7月22日	会員数 59名	対象者 54名	出席者 44(40)名	出席率 74.07%			
前々回 7月8日	会員数 58名	対象者 53名	出席者 45(42)名	出席率 79.25%	MUP O名	計 42名	修正率 79.25%

に至っては5%でアナログ放送を終了する事による影響が日本は大きいことも理由になっている。

デジタル受信機の普及

デジタル放送を見るにはデジタル受信機とアンテナが必要だが、他にもデジタルチューナーやチューナー付き録画機やパソコン、ケーブルテレビでも見ることができる。総務省が5月末に発表した地デジ対応受信機の世帯普及率は2010年3月現在で目標の81%を上回る83.8%だった。普及率が高いのは富山県の88.8%低いのは沖縄県の65.9%でこの地域差が問題の一つ。また、地デジ受信機を持たない人の40%は経済的に買い換えの余裕がないとしている。この格差が問題で政府は1台5000円の簡易デジタルチューナーを普及に役立てたいとか、地デジが見えないところにはBSの17チャンネルを使って東京の番組を流すとしているが簡易チューナーはテレビ放送は見られるもののデータ放送や双方向機能はないし、BSを使えば番組は届くものの東京キー局の番組で地域の情報は届かないという欠点がある。

世帯普及率であれ何であれ、地デジの普及には喜ばしい数字だが、別の数字を観ると今日本には1億2千万台の受信機があり、地デジ対応の受信機は2009年12月現在で6500万台、2011年7月にどこまで増えているかが問題だが残り時間からして、2011年7月にはどうも今の1億2000万台の受信機は9000万台程度になってしまいテレビの媒体価値が下がるのではと危惧されている。

◆インターネット普及とテレビ

デジタル化とともにテレビ界で問題はインターネットの普及、特にネットCMの普及でインターネットの普及は右肩上がり、その売り上げは2009年に7069億円(+1.2%)で遂に新聞の広告費6739億円(-18.6%)を抜きテレビの1兆7139億円(-10.2%)に次いで2位になった。先日「月刊民放」であるドラマのプロデューサーがテレビ開局のころ、当時映画界出身者が「なんだ！今の映画は…」とか舞台から来た人は「今の舞台はだめだ！」と言っているのを聞いたと言っていたが、最近テレビのOBの間では「今の番組はお笑いばかり…」と嘆く声を耳にする。こうした批判の真偽はともかくも若い人を中心に「テレビ離れ」進んでいる。このテレビ離れをどう食い止めるかは番組の強化しかない。テレビ再生の糸口は如何に豊かで情報量あふれる番組を制作できるかがカギと言わざるを得ない。

卓話者プロフィール

久保 晴生(くぼ はるお) 様

1936年生まれ、早稲田大学第一政治経済学部経済学科卒業。

1960年 日本テレビ放送網株式会社アナウンサーとして入社。

主に「きょうの出来事」など報道番組を担当、昭和天皇訪欧・訪米ご大葬など皇室番組にも携わった。1980~82イギリスBBCへ出向。

アナウンス室長・広報部長・国際局長などを経て日本テレビアナウンスカレッジを創設、初代学長。

現在は日テレ学院講師。長女はフリー・アナウンサーの久保純子。

趣味 ゴルフ・コーラス・映画鑑賞など。

<幹事会報告>

◎地区からの委員会ごと卓話希望受付

①広報・IT委員会：広報活動、ロータリアン検索ネットワーク

締切8/10(火)

②R財団委員会：11月の財団月間に学友を派遣(月間以外も可)

締切8/20(金)

◎R財団セミナー開催

日時：8/25(水) 14:00~17:00

場所：藤沢産業センター

* 柏手幹事、升水一義財団委員が出席致します。

締切：8/16(月)

◎第43回平塚市児童生徒創意くふう展より協賛のお願い

会期：10/21(木)~23(土)

会場：馬入ふれあい公園ひらつかアリーナ

* 例年通り協賛致します。

◎例大祭参列のご案内

日時：8/15(日) 10:30~

場所：神社本庁献幣使参向

* 桐本会長が出席致します。

◎第37回平塚市緑化まつり事業報告書を回覧しております。

◎「こどもが選ぶひらつか五百選」大募集(今年度よりクラブ協賛)

応募資格：市内の小中学生

提出期間：8/30~9/10

提出先：各学校

お問合先：平塚市観光協会 TEL (20)5110

* 応募用紙は受付にあります。

<委員会報告>

・親睦委員会 古屋忠信副委員長

7/30(金)花火大会見物家族例会について

サンライフ本社屋上に18:30~ウェルカムドリンクなどご用意してお待ちしております。駅北口からサンライフガーデンのバスをご利用いただけます。

毎15分・45分発です。ご利用下さい。

<メイクアップ>

0名

<ゲスト>

久保晴生様(卓話者)

桐本憲明様(久保様のオブザーバーとして)



<ビジター>

秋山純夫様

(秦野RC 2010-11年度会長)



<本日のスマイル>

16名

<卓話・行事予定>

8月 5日(木)横浜ベンクラブ会長 大河原英興様

12日(木)休会(定款により)

19日(木)神奈川大学 松岡教授

26日(木)群馬工業高等専門学校

特命教授 工学博士 小島 昭先生

<市内例会変更>

現在ございません。